



手話って、 楽しいWA!



ぜん こく こう こう せい

だい かい
第11回

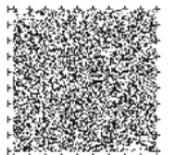
しゅ わ

全国高校生 手話パフォーマンス甲子園

こう し えん

手話パフォーマンス甲子園実行委員会
実績報告書

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

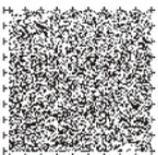


目の不自由な方への
ための音声コード

- ・ 開催概要 03
- ・ 大会スケジュール 04
- ・ 開会式 06
- ・ 出演者紹介 11
- ・ 表彰結果 12
- ・ 表彰内容 14
- ・ チーム演技 15
- ・ ねんりんピックオリジナルソング・ダンス、デフリンピックPRコーナー ... 23
- ・ バリアフリー対策 24
- ・ 会場の催し 25
- ・ 閉会式 26
- ・ 交流会 28
- ・ 予選審査会 30
- ・ 広報 32
- ・ 本大会審査実施要領 34
- ・ 手話パフォーマンス甲子園実行委員会 35



記載されたQRコードを読み取ると「手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル」で動画を視聴することができます。



◀目の不自由な方のための音声コード

「演劇・コント・ポエム等部門」「ダンス・歌唱部門」の2部門制として開催しました。

もくてき

● 目的

ろう者とろう者以外が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

にちじ

● 日時

令和6年9月22日(日) 9:30～16:10

かいじょう

● 会場

米子コンベンションセンター 多目的ホール
(鳥取県米子市末広町294)

かいさいほうほう

● 開催方法

現地開催(一般来場あり)

・会場の様子を、YouTubeでライブ配信を行いました。(配信は、音声ガイドありなしの2種類を用意しました。)



しゅさい

● 主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

きょうさい

● 共催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

とくべつきょうりよく

● 特別協力

一般財団法人全日本ろうあ連盟

とくべつきょうさん

● 特別協賛

日本財団

しゅつじょう

● 出場チーム

16チーム(19校)

※令和6年4月22日(月)から6月28日(金)まで参加チームを募集したところ、30都道府県から58チーム(60校)の参加申込みがありました。審査員9名が演技動画視聴による審査を行った後、7月25日(木)に予選審査結果についての審議を行い、演劇・コント・ポエム等部門8チーム(得点順枠5チーム、合同チーム枠1チーム、開催地枠1チーム、招待枠1チーム)、ダンス・歌唱部門8チーム(得点順枠6チーム、初出場枠1チーム、開催地枠1チーム)の計16チームを選出し、7月26日(金)にLIVE配信で発表しました。

こうしつ ごりんせき

● 皇室の御臨席

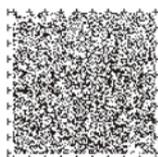
佳子内親王殿下から、おことばを賜りました。

こうこうせい たいかい

● 高校生による大会づくり

総合司会、演技司会、運営ボランティア、大会PRなどに多くの地元高校生が携わりました。大会PRポスターデザインも高校生から募集し、最優秀賞に選ばれた作品を使用しました。

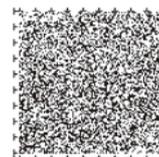
時刻	内容
9:30～	<p>開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング ・主催者あいさつ ・おことば ・特別協力団体あいさつ ・義援金贈呈式 ・出場チーム紹介 ・石川県知事ビデオメッセージ ・優勝旗返還 ・選手宣誓 <p>審査員紹介 審査方法紹介</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;">   </div>
10:15～	<p>出場チームによるパフォーマンス(演劇・コント・ポエム等部門)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 石川県立ろう学校・田鶴浜高等学校(石川県) 2 鳥取城北高等学校(鳥取県) 3 済美平成中等教育学校・松山聾学校(愛媛県) 4 京都府立聾学校(京都府) 5 聖光学院高等学校(福島県) 6 奈良県立ろう学校(奈良県) 7 熊本聾学校(熊本県) 8 大宮ろう学園(埼玉県) <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;">   </div>
11:55～	休憩



◀目の不自由な方
 ための音声コード

時刻	内容
13:00～	<p>出場チームによるパフォーマンス(ダンス・歌唱部門)</p> <p>9 米子東高等学校(鳥取県)</p> <p>10 北九州市立高等学校(福岡県)</p> <p>11 足立東高等学校(東京都)</p> <p>12 松江ろう学校(島根県)</p> <p>13 五ヶ瀬中等教育学校・宮崎日本大学高等学校(宮崎県)</p> <p>14 神戸野田高等学校(兵庫県)</p> <p>15 明誠学院高等学校(岡山県)</p> <p>16 久米田高等学校(大阪府)</p> <p>審査員講評</p> 
14:35～	<p>ねんりんピックオリジナルソング・ダンス デフリンピックPR</p> 
15:25～	<p>審査発表／表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県聴覚障害者協会賞 ・日本財団賞 ・全日本ろうあ連盟賞 ・審査員特別賞 ・第3位 ・準優勝 ・優勝 ・手話パフォーマンス奨励賞 <p>審査員長講評 閉会あいさつ フィナーレ</p>  
16:10	閉会

目の不自由な方の▶
ための音声コード





本日、ここ鳥取県米子市におきまして佳子内親王殿下にご臨席をいただき、第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を開催することは、私どもにとりまして無常の喜びでございます。

開催にあたりましてご尽力をいただきました石橋理事長、下垣理事長、佐藤常務理事、浜崎議長、伊木市長、岡田議長はじめ数多くの皆様に心から感謝を申し上げます。また、全国からご参加いただきました各学校の皆様、心から歓迎申し上げたいと思います。ようこそ鳥取県へいらっしゃいました。

ここからは手話通訳の方にお申しまして、読み取り通訳により私は手話でご挨拶申し上げますので、よろしく願います。

今年1月1日の能登半島地震で、また昨日から降り続く大雨の被害を受けられた方々に対しまして、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。今も懸命に救助活動や復興活動が続いています。練習が難しい中にあっても災害

を乗り越え頑張ってこられたことに心から応援申し上げますが、今日この後、石川県立ろう学校と田鶴浜高等学校の皆さんが、舞台に立つことになります。

先日お聞きしましたが、この手話パフォーマンス甲子園の仲間である奈良県立ろう学校から田鶴浜高等学校へ応援の色紙が贈られたということです。今日は、ここに集まった皆さんと一緒に、被災された学校に対し、応援メッセージを贈ります。また、石川県馳知事からもメッセージをいただいています。この大会が、全国の高校生がお互い助け合い、災害を乗り越えるきっかけになることを願っています。

この手話パフォーマンス甲子園は、私たち鳥取県において全国で初めて手話言語条例を制定してから1周年を記念してスタートしました。第1回大会から佳子内親王殿下におかれましては、今大会に至るまでご覧いただき、日本財団、全日本ろうあ連盟など、数多くの方々のご協力をいただき、発展してまいることができ、心より感謝申し上げます。今大会が皆様にとって、思い出深く素晴らしい舞台になることを願っております。

本日この会場では、ほかにも「手話フェス」を開催中ですので、是非皆様にも、お立ち寄りいただき、手話の魅力に触れてお楽しみください。

さて、「鳥取」という手話は、当地では「鳥」2回、「トリ・トリ」と表現します。

実は、鳥取にはダンスがあります。

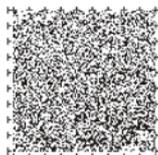
「♪はい、喜んで あなた方のため はい、謹んで あなた方のために」

「♪トリ・トリ・ダンス トリ・トリ・ダンス 踊れ」

今日は皆様、一緒に楽しみましょう。

結びに当たり、佳子内親王殿下のいやさかと、お集まりの皆様のご健勝を、お祈り申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。



◀目の不自由な方のための音声コード

● 佳子内親王殿下おことば



本日、「第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が開催され、皆様にお会いできましたことを大変うれしく思います。この大会では、これまで多くの人々の心に残る魅力的な手話パフォーマンスが披露されてきました。高校生やボランティアを含め、大会の準備や運営を支えてこられた皆様に深く敬意を表します。この後は、手話通訳の方に、読み取り通訳をお願いします。(読み取り通訳を担当する手話通訳者に対して)どうぞよろしくお願いたします。

本日は16チームの皆様がパフォーマンスを披露します。皆様は、今日のために、様々な工夫をしながら練習を積み重ねてこられたことと思います。これから皆様が舞台上上がる時、周りには今日まで一緒に頑張ってきた仲間がいます。客席から、またライブ配信を通して、皆様のパフォーマンスを楽しんでいる方々がいらっしゃいます。自分の思いやエネルギーを周りに伝え、また仲間の思いやエネルギーを、そして観客の力や雰囲気を感じながら本番に臨む

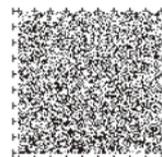
ことができれば素敵だと思います。私も客席からパフォーマンスを観る時、皆様が良いパフォーマンスをできるように応援しています。また、この大会で出会った他のチームとの交流を深めることも、きっと楽しい時間になるでしょう。

ここ鳥取県では、手話に関する取組が活発に行われてきました。私はこれまで、鳥取県の小学生向けの手話検定「手話チャレ」を体験したり、鳥取県で配られている冊子「手話ハンドブック」で勉強したりしたことがあります。県作成の動画「鳥取県おすすめ手話観光ガイド」も観ました。手話や字幕に加えて、目がみえない人、みえにくい人にも内容が伝わる情景の描写を含めた音声の解説があり、鳥取県の自然や文化などの魅力を多くの人に伝えることができると感じました。鳥取県で始まった「あいサポート運動」は、今年、15周年を迎えます。「あいサポート運動」は、様々な障がいの特性や、困っていること、必要なことを理解し、障がいのある人が困っている際に、ちょっとしたサポートを行う運動です。この運動に参加する人や企業、団体の数が増え、活動が全国各地に広がっていることを心強く思うとともに、今後ますます発展していくことを願っています。

このような取組やこの大会を通して、手話を含む様々な言語、きこえないこと、きこえにくいこと、自分とは異なる背景や状況に対する理解が深まることを願っています。そして、このような理解の深まりにより、誰もが安心して暮らせる社会になることを、誰もがより幅広い選択肢を持てる社会になることを、そしてこれらがあたりまえの社会になることを強く願っています。

終わりに、この催しが、会場にいらっしゃる皆様や、オンラインで鑑賞されている皆様の素晴らしい思い出となることを願い、私の挨拶といたします。ありがとうございました。

目の不自由な方の
ための音声コード





とく べつきょうりよく だん たい

特別協力団体あいさつ

一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事長

いしばし
石橋

だいご
大吾



今年、全国ろうあ者大会が開催された和歌山県において、全日本ろうあ連盟の役員改選が行われました。石野前理事長より引き継がれた大役をお受けし、全日本ろうあ連盟7代目の理事長となりました。

手話パフォーマンス甲子園については、第1回目より昨年の第10回大会まで、私は鳥取県民の一人として、また全日本ろうあ連盟、そして鳥取県聴覚障害者協会役員として、この会場に毎年来て全国高校生手話パフォーマンス甲子園を応援してまいりました。

今回は、立場がかわり、理事長としてここに立ち皆さまにご挨拶できたことを、とても嬉しく思います。あわせて、「第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が、秋篠宮佳子内親王殿下のご臨席のもとに関係者の皆さまのご尽力により開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

本年1月1日に発生した能登半島地震また昨日から石川県では大雨警報が続いております。被害を受けた

方々に心からお見舞い申し上げます。参加チームの中には、被害を受けた方もいらっしゃるかもしれませんが、本日この舞台に立っていただけたことを非常にうれしく思います。また、すべてのチームが今日までの間、積み重ねてきた努力の結果が発揮できることを期待しています。

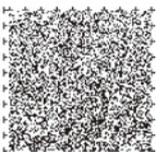
昨年は、全国で初となる手話言語条例が制定されてから10年という節目の年となり、「とっとり手話フェス」が初めて開催されました。本大会の開催だけでなく、音のない世界の体験会やデフムービーシアターなど、多くのイベントが開催されました。鳥取県にお住まいの方々だけでなく、全国の方々に「きこえない・きこえにくいこと」への理解を深めていただけたと思います。

今年も引き続き、「手話で広がるエンターテインメント」をテーマに、とっとり手話フェスが開催されることを非常にうれしく思います。本大会のみでなく、明日開催予定の「とっとり手話フェスLIVE」やエアカフェ等の各種イベントを通じて、全国の方々が手話言語に興味・関心を抱いてくださることを期待しています。

そして、来年はいよいよ「東京2025デフリンピック」が日本で開催されます。初めてデフリンピックが開催されてから、100周年という節目の年に日本で開催されることは、歴史的な快挙ともいえます。

きこえない・きこえにくい人ときこえる人が一緒に楽しむことができる「東京2025デフリンピック」の開催を通して、きこえない・きこえにくい人に対する理解の促進、情報バリアフリーと情報アクセシビリティのさらなる推進を図るとともに、真の共生社会をめざしてまいります。

最後になりましたが、この全国高校生手話パフォーマンス甲子園への参加を目指された全国の高校生の皆さま、そして出場を勝ち取った高校生の皆さまのために、本大会の開催に日夜ご尽力されました鳥取県をはじめ、実行委員会、関係者の皆さまに心からお礼を申し上げ、私の挨拶といたします。



◀目の不自由な方のための音声コード

ぎ えん きん ぞうていしき

義援金贈呈式



令和6年能登半島地震で、これまでの手話パフォーマンス甲子園の参加校の中にも、被災された学校が複数あったことから、義援金とメッセージを募集し、石川県の石川県立ろう学校、田鶴浜高等学校及び金沢北陵高等学校に贈呈しました。(贈呈式には、今大会出場の石川県立ろう学校及び田鶴浜高等学校が出席されました。)

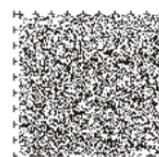
いしかわけんちじ

石川県知事ビデオメッセージ

石川県馳 浩知事から届いたメッセージ映像を上映しました。



目の不自由な方の
ための音声コード





かい かい しき 開会式

ゆうしょう き へんかん 優勝旗返還

熊本聾学校(熊本県) **大塚 温翔**

昨年の第10回大会優勝チーム 熊本県立熊本聾学校の**大塚温翔**さんから、平井伸治鳥取県知事へ優勝旗が返還されました。平井知事からは、代わりに優勝盾が大塚さんへ贈られました。



せんしゅせんせい 選手宣誓

米子東高等学校(鳥取県) **志村 寧子**

宣誓

私たちは、今日この第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の舞台に立てることをとても嬉しく思います。

私たちはそれぞれの思いや夢を演劇・コント・ポエム・ダンス・歌唱、そして手話を用いて表現するために仲間たちと話し合い、工夫し、パフォーマンスを作り上げ、全力で練習に取り組んできました。

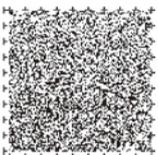
この大会を通して、全国の手話パフォーマンスに取り組む仲間たちとの絆を深め、手話という言葉に深く触れ、また自分自身が手話で思いを表現することを全力で楽しめます。

そして、手話がさまざまな壁を超えた表現方法の一つとして広く全国へ普及することを願い、精一杯の笑顔でパフォーマンスすることを誓います。

令和6年9月22日

選手代表

鳥取県立米子東高等学校 志村寧子



◀目の不自由な方
のための音声コード



しゅつ えん しゃ しょう かい

出演者紹介

演技司会者



はやせ けんたろう
早瀬 憲太郎さん

ろう児対象の国語専門学習塾「早瀬道場」塾長。映画監督。元NHKみんなの手話講師。デフリンピックサムスン2017自転車競技日本代表。

総合司会者



むらかみ しんご
村上 真吾さん

NHK鳥取放送局アナウンサー



たなか さら
田中 更さん

米子高等学校2年 JRC



すみだ まお
角田 茉音さん

米子高等学校2年 JRC



おりおく りみ
織奥 莉実さん

米子高等学校2年 JRC



まつばら しおり
松原 史栞さん

米子高等学校3年 JRC

審査員

審査員長



ろう者

しょうざき たかし
庄崎 隆志さん

演出家・劇作家・俳優
※審査員長は両部門の審査を実施

演劇・コント・ポエム等部門



ろう者

かわはら まさひろ
河原 雅浩さん

一般財団法人全日本ろうあ連盟副理事長



ろう者

おおしろ ようこ
大城 桜子さん

俳優

ダンス・歌唱部門



ろう者

おかざき のぶひこ
岡崎 伸彦さん

手話エンターテイメント発信団oioi代表理事



ろう者

にゃんこ
Nyankoさん

モデル・手話歌パフォーマンス



きこえる人

たに しんいち
谷 進一さん

聾宝手話映画・代表訪問看護師



きこえる人

かわいだ さちこ
川井田 祥子さん

鳥取大学地域学部教授・鳥取大学附属特別支援学校 校長



きこえる人

きたむら じん
北村 仁さん

株式会社ユーディフル・UDダンス®

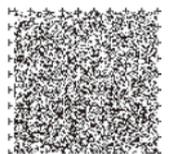


きこえる人

はまもと みちこ
濱本 道子さん

鳥取ダンス協会理事

目の不自由な方のための音声コード





演劇・コント・ポエム等部門



ゆうしょう
優勝

熊本聾学校(熊本県)

- 演技タイトル / ときそば今様
- 演技内容 / コント
- 審査得点 / 211点
- 演技順 / 7



じゅんゆうしょう

準優勝

大宮ろう学園(埼玉県)

- 演技タイトル / 小さな命を育む
- 演技内容 / 演劇・ポエム
- 審査得点 / 197点
- 演技順 / 8



だい い

第3位

**済美平成中等教育学校・
松山聾学校(愛媛県)**

- 演技タイトル / デイナーテーブル
症候群
- 演技内容 / 演劇
- 審査得点 / 195点
- 演技順 / 3



しん さ いん とく べつしょう

審査員特別賞

**石川県立ろう学校・
田鶴浜高等学校(石川県)**

- 演技タイトル / 能登から”つなぐ”
みんなの未来
- 演技内容 / 演劇・ポエム
- 演技順 / 1



ぜん にほん れんめいしょう

全日本ろうあ連盟賞

北九州市立高等学校(福岡県)

- 演技タイトル / 太陽手に月は心の両手に
- 演技内容 / ダンス
- 演技順 / 10

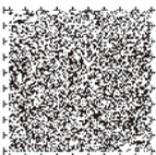


にっぽんざいだんしょう

日本財団賞

神戸野田高等学校(兵庫県)

- 演技タイトル / Challenger～見せつけろ!ど根性!～
- 演技内容 / ダンス
- 演技順 / 14



◀ 目の不自由な方のための音声コード

ダンス・歌唱部門



ゆうしょう
●優勝

久米田高等学校(大阪府)

- 演技タイトル / ありのままの自分
- 演技内容 / ダンス
- 審査得点 / 212点
- 演技順 / 16



じゅんゆうしょう

●準優勝

五ヶ瀬中等教育学校・
宮崎日本大学高等学校(宮崎県)

- 演技タイトル / 被災、別れからの復興
～亡き母からのメッセージ
「ハナミズキ」に乗せて～
- 演技内容 / 歌唱
- 審査得点 / 199点
- 演技順 / 13



だい い

●第3位

明誠学院高等学校(岡山県)

- 演技タイトル / 窓の外には
～優しい心が
一番大切だよ～
- 演技内容 / 歌唱
- 審査得点 / 189点
- 演技順 / 15



しん さ いん とくべつしょう

●審査員特別賞

足立東高等学校(東京都)

- 演技タイトル / にじいろ
- 演技内容 / ダンス
- 演技順 / 11



とつ とり けんちょうかくしょうがい しゃきょうかいしょう

●鳥取県聴覚障害者協会賞

聖光学院高等学校(福島県)

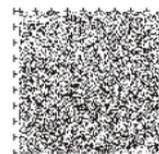
- 演技タイトル / 個性の尊重
- 演技内容 / 演劇
- 演技順 / 5

しゅ わ しょうれいしょう

●手話パフォーマンス奨励賞

前記以外の本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与しました。

目の不自由な方の
ための音声コード





ひょう しょう ない よう

表彰内容

優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞は、部門ごとに表彰を行い、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞は、別途部門問わず選出し表彰を行いました。

しょうじょう

賞状



ゆうしょう き

優勝旗



優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞

たて

盾



準優勝



第3位



手話パフォーマンス奨励賞

優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞

メダル

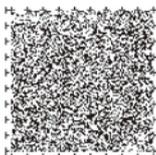


優勝、準優勝、第3位の選手全員に授与(鳥取砂丘にちなみ“砂のメダル”を授与)

ふくしょう

副賞

優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞受賞チームそれぞれに副賞が贈られました。



◀目の不自由な方のための音声コード